

第 187 回
定例探鳥会

日時：2002 年 7 月 14 日 (日) 天候：晴れ
コース：高来神社 八俣山 浅間山

この時期は一番鳥の少ない(観察されない)時期で、おまけに今日は台風の影響で風が強く観察数はかなり少ないだろうなと感じる日でした。

それでも高来神社上空でアオバトが飛んだりイワツバメがかなりの数が飛んでいたりと、森の外では観察されました。森の中に入ると蒸し暑くほとんど観察されません。アオゲラの声が出ていましたが残念ながら姿は確認できませんでした。まだセミの声は聞こえていませんでした。

大堂ではいろいろな蝶が見られました、蝶に詳しい福田 適さんに解説と種の確認をしてもらい鳥は少なかったけど蝶がたくさん見られました。アオスジアゲハ、モンキアゲハ(夏型)、キアゲハ、カラスアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハ、キチョウ、スジグロシロチョウ、ヤマトシジミウラギンシジミの10種類を確認しました。

よく見ていると同種でもつれ合っているのでは何をしているかと思ったら、縄張り争いをしているとのことでした。風が強かったのになぜか蝶はよく見る事が出来ました。浅間山で鳥合せ、やはり16種、秋が待ち遠しいですね。

今朝6:00~ 照ヶ崎でアオバトのNHKのTV撮影があり、こまたんメンバーも参加し田端さん、金子さんは最後まで撮影のお付き合いをして定例には参加できませんでした。放送は7/27(土)に放送されました。

参加者

参加人数 27 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|------------|-----------|-------------|-------------|
| 1. 根岸 春旭 | 2. 近藤 静子 | 3. 下倉 紘一 | 4. 八木 正 | 5. 脇 正太郎 |
| 6. 鈴木 逸子 | 7. 服部 寛之 | 8. 吉田 宣子 | 9. 中島 鈴之 | 10. 森田 義雄 |
| 11. 福田 適 | 12. 山下 勝司 | 13. 山田 文則 | 14. 吉田 敬一 | 15. 伊藤 武雄 |
| 16. 岩崎 泰 | 17. 岩崎 秀美 | 18. 小林 貞二 | 19. 小林 ふみ子 | 20. 小野 肇 |
| 21. 南 博 | 22. 南 那津子 | 23. 木田 ハマ | 24. (西ヶ谷修一) | 25. (岩佐 昌夫) |
| 26. (内山規矩雄) | 27. (斎藤常實) | | | |

見聞きした鳥

種類数 16 種 (ドバトを含む)

- | | | | | |
|-------------|----------|----------|---------|-------------|
| 1. キジバト | 2. アオバト | 3. (ドバト) | 4. アオゲラ | 5. コゲラ |
| 6. ツバメ | 7. イワツバメ | 8. ヒヨドリ | 9. ウグイス | 10. ヤマガラ |
| 11. シジュウカラ | 12. メジロ | 13. ホオジロ | 14. スズメ | 15. ハシボンガラス |
| 16. ハシブトガラス | | | | |

照ヶ崎でアオバト観察会がめじろ押し

7月の最後の週末は、照ヶ崎海岸でたくさんのアオバト観察会が行われました。

7月27日(土)は大磯町が公募した小学生対象の観察会(8:30~11:00)でした。こまたんから参加したメンバーの感想文を紹介します。

7/27(土)西ヶ谷さんが講師として大磯町公募の小学生対象(親子)のアオバト探鳥会良かった!!小学生も夏休みの研究にしようとしてしっかりノートに付けている子供が多かった(親に無理やりという子もいましたが)。若い親だったので、逆に親のほうがアオバトの美しさにビックリして夢中になっていました。私が話した家族の夫婦は、宿場祭りの時アオバト屋のアオバトの紹介を見て絶対今年は見たいとこの探鳥会を心待ちにしていたそうです。うれしいですね。こまたんがアオバト伝道師として遊ばせてもらっていて、それがまた他の人の感動につながっていることを直に感じると、またこちらがその方からパワーをもらう、やめられませんね。今日は瞬間最大150羽程度は飛来してすごかった。幼鳥も産毛付き3羽、幼鳥(肩のアヅキ色がまだら、三日月型)1羽、クチバシ肌色1羽、目が大きく羽根まだら1羽を確認。その他幼鳥らしき個体はかなりいるようだが、成長が早いらしく幼鳥と認識は難しい。確実なのは雄の幼鳥の肩のアヅキのまだらを確認することが一番確実ですね。これは若鳥に換羽するまで変わらないと思います。

翌7月28日(日)は、大磯町民自由参加観察会(6時~10時)、平塚市立松原公民館「アオバトを見よう(8時~11時)、こまたん主催 市民探鳥会」(6時~10時)の三本立てです。

松原公民館の観察会は恒例になっており今回で7回目(?)です。毎年大勢の子供たちが参加してくれるのですが、今年は悪い風邪がはやっているようで、10人とちょっとさびしかったです。それでもまた来年もお願いしますといわれてうれしかったですね。

市民探鳥会は、今回はじめて時間を決めずに行きました。6時から10時頃間の都合のよい時間にどうぞと呼びかけましたが、どうなることかと心配していました。なるべく朝早くの方がよく見られると宣伝したせいか、6時頃に来られた方が一番多かったようです。

大磯町民自由参加観察会の方は、ちょっと参加者が少なかったようで残念でした。

この日は遠い台風の影響で非常に波が荒く、またちょうど満潮と重なったために観察にはあまりよくない条件でした。丹沢の方は雲にすっぽりと覆われアオバトにとっては視界がきかず、飛来数が少ないと予想されました。それでも6時少し前には約70羽の群れが岩場の上を旋回する姿を見ることができました。時間が経つにつれてアオバトの飛来数が増え始め、8時頃には最大瞬間飛来数が100羽を超える大きな群れも見られるようになって来ました。波が荒くてなかなか岩場には降りられないようすが、波の合間に果敢に岩場に降りて海水を吸飲するところを望遠鏡で見ることができ、参加された方も感激していました。

前日(7/27)に、ちょうどタイミングよく、朝のNHKテレビのニュースで照ヶ崎のアオバトが取り上げられ、全国ネットで放送されました。観察会に参加した人からも、昨日のテレビを見たよ」という声がたくさん聞けました。テレビで見たので早速やってきましたという川崎からの7~8人のグループや、立川からの4~5人のグループもいました。テレビ(それもNHK)の影響は大きいですね。

7月28日に参加したこまたんメンバーの感想文を紹介します。

7月28日(日曜日)、大磯町照ヶ崎海岸で、こまたん主催のアオバト市民探鳥会が開かれました。午前6時から都合が良い時間にどうぞ！という形をとったせいでしょうか？遠方からの方々が、9時前後にいらしたりして、たくさんの方の参加がありました。前日にNHKの放送があったのも幸いしていたのでしょうか？今日の照ヶ崎海岸は、かなり波が荒く岩場に海水を飲みに来るアオバト達は、波をかぶり海中に引き込まれそうな状態でした。なかなか、岩場に下りたえず、照ヶ崎海岸上空を、瞬間最大数120羽のアオバトが飛び交う様子を目にした方々は、誰も驚きを隠せない様子でした。今日の探鳥会を終え、波に吞まれ死んでしまう、危険を冒してまで海水を飲み来るアオバト達のためにいつまでもこの環境が、守られることを願いたいと思います。

NHKテレビで宣伝してくれたおかげで、これからも照ヶ崎にやってくる人がますます多くなると思います。そのような方を見かけたら気軽に声をかけてアオバトのことを説明してください。望遠鏡を持っていれば、美しい姿や海水を飲むという興味ある行動を見せてあげてください。大勢の人たちにアオバトの美しさを知ってもらおうことがこまたんの永遠のテーマです。

なるほど・ザ野鳥 (No.2)

野鳥たちの不思議な行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで御紹介していきます。

派手な色って刺激的！ - 鳥の色覚は

鳥は視力がよいだけではなく色覚を持っています。赤や黄が鳥にとって最も感じやすい色だと思われてきましたが、鳥は全ての色に敏感に反応することが分かりました。

色覚の発達が羽毛の色や模様を派手で美しいものに進化させたのだと思われます。雄の美しい色合いの羽毛は雌を引きつけ、多くの種で配偶行動に役立っています。配偶行動だけでなくヒナが親にエサをねだるときにもヒナの口の中の色や模様に刺激されて給餌することが分かっています。また雄同士の争いにもよく目立つ色や模様の羽毛を、お互いに相手に誇示することによって行われます。このように鳥の行動は、色によって刺激され、この刺激が引きがねとなって起こされる場合が少なくありません。

植物の果実や花の赤い色は、鳥を引きつける重要な要素だといわれています。色がついたえさを使った実験では、鳥が食物を選択するのに色を問題にしていることがよくわかりました。

バードウォッチングに出かけるときは、地味な服装で行きましょう。

【お知らせ】

照ヶ崎アオバト観察会

8月31日(土) ... 金目川流域ネットワークがアオバト観察会を実施します。6時から、8時に大磯駅着の参加者が主体となります。
望遠鏡をお持ちの方の応援をお願いします。

大磯 宿場まつり

例年は11月3日頃に行われていますが、今年は東海道シンポジウムが10月12日に大磯で行われるので、これに合わせて「宿場まつり」が10月13日(日)に開催されることになりました。詳しいことが分かりましたらまたお知らせします。

鳥報

アオバト情報

・照ヶ崎のアオバト 7/17～7/25 観察者：山田、下倉、小野

観察日	時間	総飛来数	飛来回数	瞬間最大飛来数	備考
7/17	7:00～8:20	599	33	-	
7/18	5:40～7:20	557	25	80	
7/19	5:30～8:32	183	23	36	幼鳥 1羽飛来、初認 嘴がピンク色
7/22	6:00～7:32	486	34	-	
7/23	5:50～7:35	634	57	-	
7/24	5:55～8:35	1,072	62	72	成鳥 1羽が波に吞まれる 羽が乾けば飛べそう
7/25	6:00～7:50	521	42	-	幼鳥 2羽飛来。テトラポットにとまるものが多い。
7/28	6:00～10:00	-	-	-	幼鳥 9羽確認(肩のアズキ色が三日月形。肩に産毛があるもの。風切羽縁に白い筋。嘴が肌色。胸白く雨覆い先端に太い白筋)。交尾のような行動を2回確認。

・その他の場所でのアオバト目撃報告

吉沢、鷹取山での観察数が増えてきている。ヤビツ峠でも観察された。

その他の野鳥情報

ツバメ... 葦毛の手前の田んぼ。電線に1,000羽を越える数がとまっていた。

モズ... 7/24 花水川 1羽が電線にとまる。全体がグレーっぽく濃い色。お腹の褐色がなかった

7/28 茅ヶ崎市・里山公園 1羽

【お知らせ】

定例カウント調査

吉沢 松岩寺 & 土屋 遠藤原 2002年9月7日(土)

生沢 鷹取山 2002年9月14日(土)

午前6時に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12時頃に集合場所に戻ります。雨天中止。

連絡先：岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2002年9月8日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第186号 / 8月号 発行所 :こまたん

齋藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.2u.biglobe.ne.jp/komatan/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>